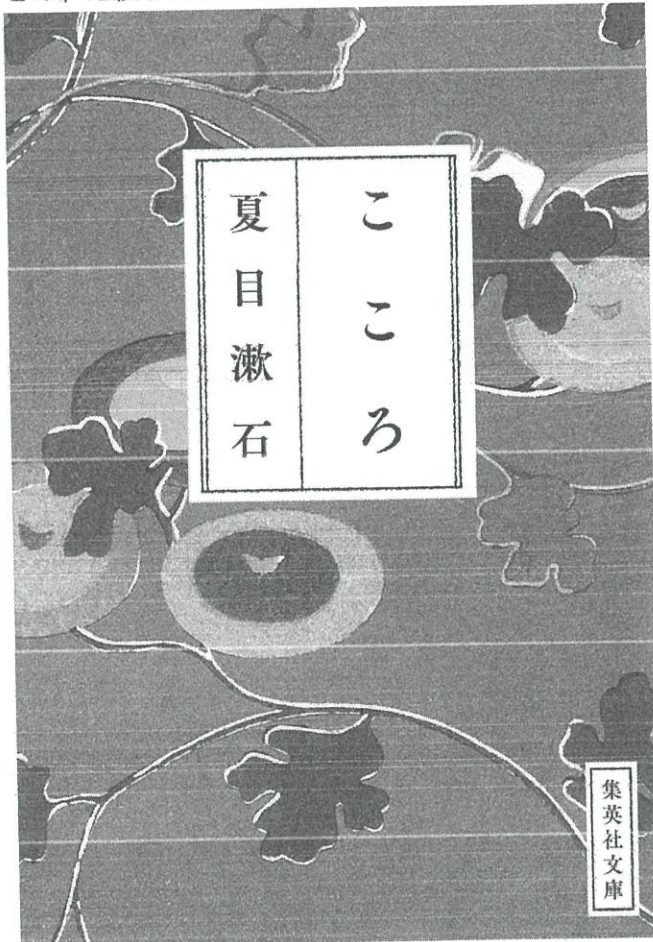


小説における「つかみ」の
重要性

小説における「つかみ」の重要性

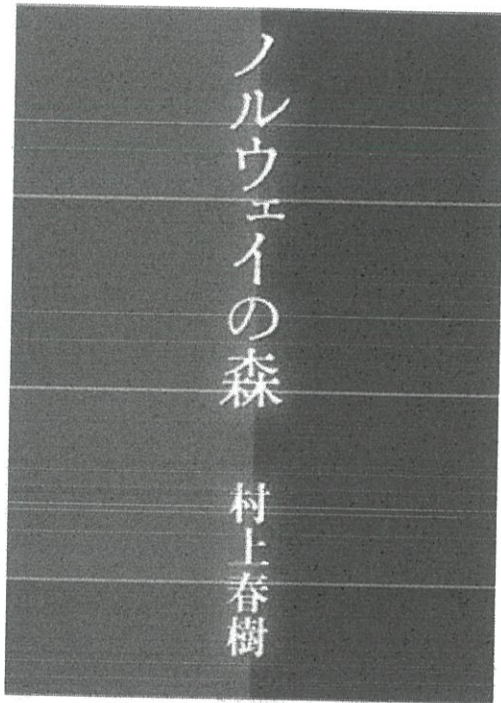
このテーマで研究を始めようと考えた動機は、僕が小説を書く際に詳しく調査したことはなかったけれど書き始めがかなり重要だということを意識しながら書いており、また僕が小説を選ぶ際に買うか否かを判断する基準が第一にタイトル、第二にあらすじ、そして決め手となる「つかみ」だからです。実際僕はタイトルとあらすじは興味を持ったけれど「つかみ」があまり好きではなかったという理由で買わないという判断をすることがあり、人気というのは小説の完成度だけでなく話のとっつきやすさなどもあってこそ得られるものだと考えています。だから僕は、人気の作品の「つかみ」には共通点が存在するという仮説を立てました。

まず僕は「人気の小説」というものを累計発行部数が多いものと定義し、いくつかの作品を累計発行部数400万部以上のもの中から選びました。そしてそれらの小説のつかみの要点をまとめ、比較することによりその効果を調べていきます。



まず、著：夏目漱石「こころ」

この作品ではまず最初に自分と登場人物との関係性からくる持論を展開し、そしてそのような関係性になった経緯を話しています。この書き始めにすることによって、その後の文章の意味を理解しやすくしており、また文章に対する興味を煽っています。



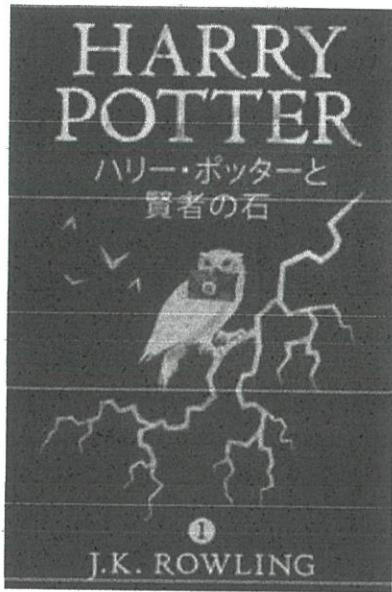
次に、著：村上春樹「ノルウェイの森」

この作品ではかなり詳しい情景描写の中に持論を混ぜており、そしてタイトル回収を先にしてしまうことにより意外性を持たせています。詳しい情景描写により時代背景や主人公の心情、そこから先に起こることに対する理解がしやすくなっており、読みやすくなる効果を与えています。



著：川端康成「雪国」

この作品ではタイトルにもあるように雪国であることを強調して描かれており、書き始めから雪、白、冷気といった単語を用いているため、タイトルを見て興味を持った人が期待しているような書き始めになっていると思います。また、汽車についての描写から始まっており、時代を感じさせるとともに田舎の雰囲気を感じさせるといった小説の世界観を大切にしている文章の構成になっているように思えます。



著：J.K.ROWLING 「ハリー・ポッターと賢者の石」

ファンタジー小説なのでほかの作品と比較するのは難しいかもしれませんが、書き始めにも人気になる工夫がされていると思ったので選びました。この作品では最初に「不思議」や「神秘」といった単語を使い、不思議な生態を持つキャラを登場させることで「ハリー・ポッター」という作品の持つ奇妙さを表現しています。また、タイトルにある「ポッター」の姓について少し登場人物に語らせ、その後少し間を開けて作品のタイトルと同じ名前を持つ主人公に登場させることで物語の世界に引き込まれるようなつくりになっています。

これらの小説全ての書き始めにおける共通点として、情景描写を重要視していること、そして雪国以外の三作品の共通点として一人称視点であること、上2作品における共通点として、持論を先に話しておくことで登場人物の話し方や考え方、行動に対して読者の理解がしやすくなっている、下2作品における共通点として世界観をかなり大切に描写し、自然にその小説に対する読者の興味を高め、またタイトルに関連して話が進んでいくのでタイトルから興味を持った人がさらに興味を持つような作りになっているということがあります。

これらを踏まえて僕もタイトル、つかみを書いてみました。

「氷華」

雪の舞う北陸の朝、窓際の椅子に座り私は今日も手紙を書く。誰に向けたものでもないが、私には「手紙を書く」ということが何か特別なもののように感じられて、宛先のない手紙が日を追うごとに増えていく。いつかそれに宛先がつくことがあったとして、その時私は何を感じているのだろうか。手紙の中に描かれた過去の私に対して、受け取った人は何を思ってくれるのだろうか。そんなことを思いながら、手紙を書き終え白い雪に溶け込むようにいつもの洞窟に向かう。彼女は今日もここにいるのだろうか。奥に進むと、やはり彼女はそこにたたずんでいて、私が声をかけるといつものように私を見つめこう言った。

「おはようございます。仕事を再開しましょうか。」

つかみの中でも序盤にすぎないものですが、つかみの共通点を詰め込むだけでもある程度の興味は惹けるものにはできたのではないのでしょうか。実際この文章を共有し、続きが気になるかという質問をしたところ、「興味は惹かれる」といった評価を受けました。しかしやはり詰め込むだけでは「続きが気になる！！！」というようなものにはできないので、そういうつかみにするためのポイントについてもこれから調べられたらいいです。

参考文献

[小説のベストセラーランキング！150万部以上売れた小説 37 作を紹介！（bungakubu.com）](https://www.google.co.jp/url?sa=t&ret=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwji-uWhhIz3AhWam1YBHRBxD74QFnoEACAcQAQ&url=https%3A%2F%2Fbungakubu.com%2Fnovel-sales%2F&usg=AOvVaw3Uj0g1pT0a5EyYb8QUhTDs)

[https://www.google.co.jp/url?sa=t&ret=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwji-](https://www.google.co.jp/url?sa=t&ret=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwji-uWhhIz3AhWam1YBHRBxD74QFnoEACAcQAQ&url=https%3A%2F%2Fbungakubu.com%2Fnovel-sales%2F&usg=AOvVaw3Uj0g1pT0a5EyYb8QUhTDs)

[uWhhIz3AhWam1YBHRBxD74QFnoEACAcQAQ&url=https%3A%2F%2Fbungakubu.com%2Fnovel-sales%2F&usg=AOvVaw3Uj0g1pT0a5EyYb8QUhTDs](https://www.google.co.jp/url?sa=t&ret=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwji-uWhhIz3AhWam1YBHRBxD74QFnoEACAcQAQ&url=https%3A%2F%2Fbungakubu.com%2Fnovel-sales%2F&usg=AOvVaw3Uj0g1pT0a5EyYb8QUhTDs)